岡崎市立大樹寺小学校　校長室だより　令和４年１２月２３日（金）　第２５号

大樹のこころ

案内看板

１２月１８日（日）に NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の１３人」が最終回を迎えました。この最終回の冒頭に徳川家康が登場しました。来年スタートの「どうする家康」の宣伝を兼ねた演出です。松本潤さんが演じる家康の姿が映し出された時、「いよいよ始まるんだ」という感慨が沸き起こってきました。

岡崎市も大河ドラマとタイアップして、家康公生誕の地である本市を PR しようとしています。先日、市役所にある「『どうする家康』活用推進課」から本校に連絡がありました。大河の放映開始とともに大樹寺への観光客が増えると予想しており、観光客は大樹寺のバスターミナルから徒歩で移動することになります。そこでターミナルから大樹寺への道順を示す案内看板を立てることを計画していて、看板の標語を本校の子供たちに考えてもらいたいという依頼でした。二つ返事で引き受けることにしました。

９つの看板を立てるということで、４年生以上の９クラスで一つずつ標語を考えることにしました。さすが家康学習を推進している本校の子供たち。素晴らしい標語がたくさん出され、各学級から代表作品が選ばれていきました。そして１２月２０日（火）に完成した看板が設置されました。バスターミナルから大樹寺への道のりの電柱につけられています。見ているとわくわくしてきます。下校する子供たちも看板の存在に気付き、大喜びしていました。２２日（木）には NHK が標語を考えた子供へのインタビュー取材にも来ました。この模様は１２月２７日（火）NHK「まるっと！」で放映予定（１８：１０～１９：００）だそうです。

今日で２学期も終わりです。明日から冬休みとなりますが、年を越すと「どうする家康」で熱い冬を迎えることになります。それに備えて英気を養っておきましょう（笑）。３学期に元気な子供たちと再会できることを楽しみにしています。それでは、良いお年を。

各学級で選ばれた標語